

企業誘致

——震災、経済情勢の悪化により、特に若年層の就職先が無く心配している。町では、鶴庭工業団地への企業の誘致にどのような考えで取り組んでいるのか。

3月11日の震災前には年に数件の問い合わせがあり、直接現地を見に来た企業もあった。

残念ながら、震災後は同様の問い合わせがないが、雇用確保の面からも製造業を中心に企業誘致を進めていきたい。

まちづくり・定住

——駅からずっと空き地・空き家・空き店舗が多くある。町営住宅の在り方も問

題。人が行きかうようなまちづくりが大事。

今後のまちづくりの重要なポイントである。みんなが良いアイデアを考えていきたい。

——結婚して小野町に住みたいという人が外に出てしまっている。町営住宅を優先的に利用してもらうなどしないと、町に住む人が少なくなってしまう。

若年者向けの町営住宅も含め、今後の町営住宅の在り方について検討したい。



町営住宅

夏井川の河川改修工事

——現在の河川改修工事は、川除橋から上流の改修であり、完成したら右支夏井川と夏井川合流地点の川除橋下流域では大雨時に大量の水が押し寄せ、溢れる可能性が高い。工事がストップしてしまうのは問題である。

——昨年、夏井川(飯豊上地区)の河川改修を行い、当時はきれいだったが、年々中洲に砂が堆積し、柳などが生えるようになってきた。草刈りなどを行っていたが、事故の際に補償されないため、ここ2年は作業を中止している。今後どの

適切な対応を求めていく。

ようにするべきか。

——河川について本来は国の管轄であるが、2級河川は管理が県であり、夏井川の管理は三春土木事務所が行っている。昨年は浮金地区で堆積物の除去などを行った。今後、改めて要望していく。

教育

——小野中学校と浮金中学校の統合問題について、震災後、一カ所に集中することは良くないのではと考えるようになった。地域のコミュニティの場としての役割もあるため、学校教育という考え方だけではなく、過疎化を進めないなどの町づくりをしてほしい。

——学校統合は経費削減のためではない。必ずしも経費が少なくて済むわけではなく、国の交付金が少なくなり、逆にスクールバスなど

の経費が増える可能性もある。地域コミュニティの役割もあるが、一方で、少子化を踏まえると、学級編制の問題や適正な競争ができなくなるのではとの問題もある。子どもたちにとって最良の環境を作ることが一番である。

——給食センターが始まるということ、今年の2月に地産地消を進めるため会を組織し、取り組みを検討していたが、震災後は中断している。給食センターで使用している食材の放射性物質の測定はどのようにしているのか。

——現在、給食の食材については、放射能による影響を考慮し、市場に流通している食材を使用している。地産地消の取り組みについては、今年が物がそろわないと聞いているが、準備ができ次第進めたいと考えている。なお食材の放射能測定については、対応を検討しているところである。